

6年生の家庭学習について

■期間：3月3日（火）～6日（金） ※3週に分けて学習課題がでます。

教 科	学 習 内 容																																				
国 語	<p>①音読「言葉は時代とともに（P. 94～101）」 ②音読「日本語の文学（P. 102～107）」 ③音読「さまざまな読み方（P. 108～109）」 ④書く「特別な読み方の漢字（P. 110）」…<u>ノートに漢字と読み仮名を書く。</u> ⑤書く「六年生で学ぶ漢字（P. 111）」…<u>教科書に書き込む。</u> ⑥くりかえし漢字ドリル 書く 30・31 10級・9級・8級・7級…<u>ドリルに書き込む。（答え合わせをする。）</u></p>																																				
算 数	<p>①「中学校体験入学コース④勝つ可能性（P. 213）」 ②「ミステリーコース①まほうじん②目のさっかく（P. 214～216）」 ③「和算コース①鶴亀算（P. 217）」 【P. 213～217の答えは、下のその他の欄に掲載しています。】 ④くりかえし計算ドリル 26・27・28…<u>答え合わせをする。</u></p>																																				
理 科	<p>①「電気の利用（P. 170～176）」を読み、P. 177の問題を解く。 【P. 177の問題の答えは、下のその他の欄に掲載しています。】 ②テスト「電気の利用」をやり、答え合わせをする。</p>																																				
社 会	<p>①音読「世界の人々とともに生きる（P. 62～P. 71）」</p>																																				
その他	<p>算数解答</p> <p>①「勝つ可能性（P. 213）」 ①9通り、右の図：子・ハ・ク・子・ハ ②1通り、それぞれ1通り ③$1 \div 9 = 1/9$</p> <p>②「まほうじん（P. 214～215）」 ①ア：16 イ：3 ウ：13 エ：10 オ：8 カ：9 キ：7 ②34 「目のさっかく（P. 216）」 ①同じ ②同じ ③（1）（2）（3）同じ （4）C</p> <p>③「鶴亀算（P. 217）」 ①20本、22本</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;">鶴の数（羽）</td> <td>10</td><td>9</td><td>8</td><td>7</td><td>6</td><td>5</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>亀の数（ひき）</td> <td>0</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td> </tr> <tr> <td>足の数（本）</td> <td>20</td><td>22</td><td>24</td><td>26</td><td>28</td><td>30</td><td>32</td><td>34</td><td>36</td><td>38</td><td>40</td> </tr> </table> <p>②2本ずつ増える。 ③鶴6羽、亀4ひき ④$10 \times 2 - 28 \div 2 = 6$（鶴6羽）、$10 - 6 = 4$（亀4ひき）</p> <p>理科解答</p> <p>①「電気の利用（P. 177）確かめ」 1（1）つくっ、ため （2）光、音、熱 （3）太さ、太い 2（1）同じコンデンサーを使う。ためる電気の量を同じにする。 （2）発光ダイオード</p>	鶴の数（羽）	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	亀の数（ひき）	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	足の数（本）	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40
鶴の数（羽）	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0																										
亀の数（ひき）	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10																										
足の数（本）	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40																										

※クラスによっては、すでに学習済みのものがありますが、もう一度、復習として取り組みましょう。